

本来の意味②

琴線（きんせん）にふれる

感動や共感をあたえること

話のさわり

話の要点のこと

確信犯（かくしんはん）

正しいことだと信じて行う犯行

小春日和（こはるびより）

初冬のあたたかい日

割愛（かつあい）する

惜しみながら手放す

煮詰まる（につまる）

議論や意見が出尽くして結論の出る状態になる

潮時（しおどき）

一番いいタイミング

姑息（こそく）

その場しのぎの対応をすること